

## 第40回以降の全国大会マーチングバンド部門における 実施要項、審査要項の改革に関するインフォメーション

### 当協会の目指すマーチングバンド活動の理念

マーチングバンド精神は身体と意志と知性・感性を融合させた、バランスのとれた人間形成を目指すものである。音楽文化を教育やスポーツと融合させる力を持つマーチングバンド活動が求めるものは、努力の中に見いだされる喜び、良い手本となる教育的価値、普遍的かつ基本的倫理原則の尊重に基づいた基本的な生き方である。

人種、宗教、性別、その他の理由に基づく団体や個人に対する差別はいかなる形であれマーチングバンド精神とは相容れない。

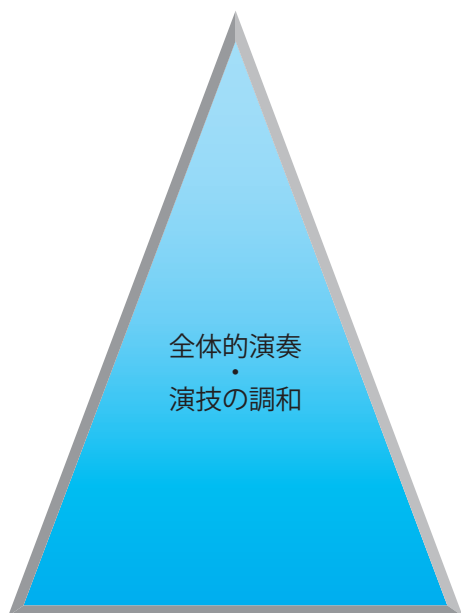
### 40回大会以降の実施要項、審査要項改革の骨子

上記理念に基づき40回大会以降の大会実施においてより安全で公平な大会運営を行う為に改革を行う。

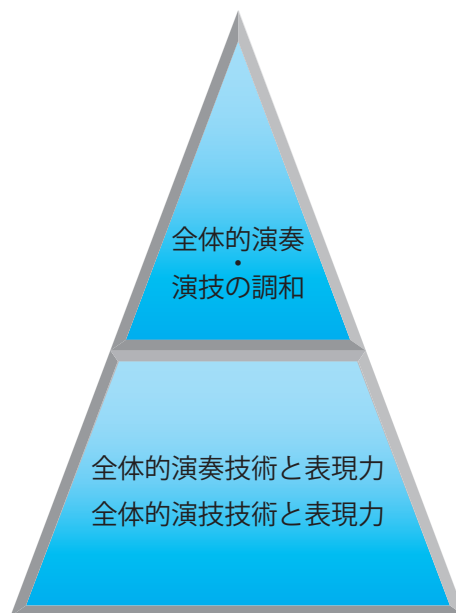
### 審査要項改革内容

- 1：審査は演奏、演技から生み出されたすべてを評価することであり、作品で用いている大道具そのものを評価することはない。
- 2：審査項目とその内容は年代層に即し、より理解し易いものとする。  
小学生の部では個々の技術は問わず全体の完成度、達成度を評価する審査内容とし、年代が上がるごとにこれを細分化し、一般の部ではキャプション性をより重視し最も細分化された審査内容で評価を行う。

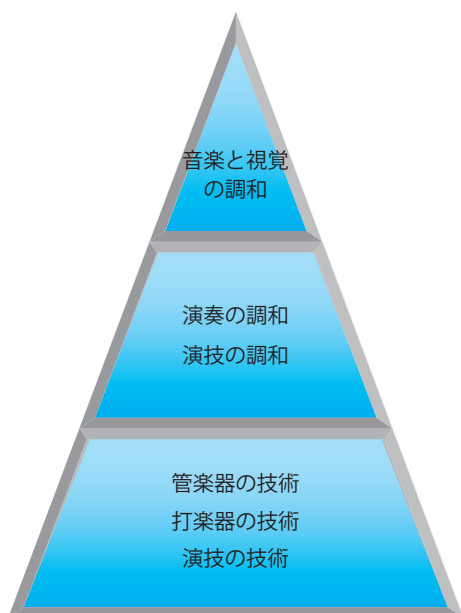
# 第40回全国大会以降の マーチングバンド部門における審査項目の体系図



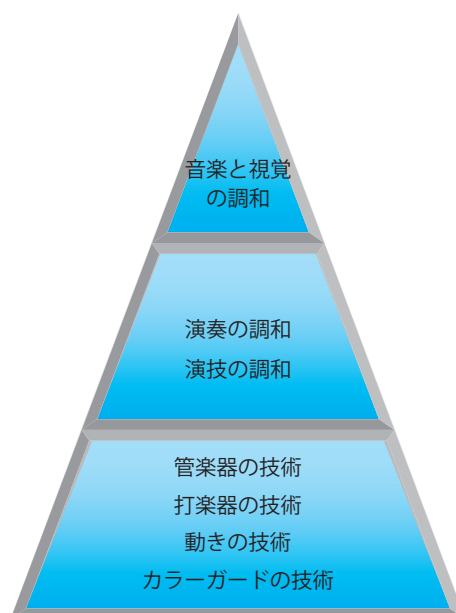
小学生



中学生



高等学校



一般

マーチングバンド部門の審査項目(キャプション)と審査員人数

審査項目 (キャプション)	審査員の人数と種類			
	小学生の部	中学生の部	高等学校の部	一般の部
全体的演奏・演技の調和	音楽: 3名	音楽: 1名	-	-
	視覚: 2名	視覚: 1名		
全体的演奏技術と表現力	-	音楽: 2名	-	-
全体的演技技術と表現力	-	視覚: 1名	-	-
音楽と視覚の調和	-	-	音楽: 2名	音楽: 2名
			視覚: 1名	視覚: 1名
演奏の調和	-	-	音楽: 1名	音楽: 1名
演技の調和	-	-	視覚: 1名	視覚: 1名
管楽器の技術	-	-	音楽: 1名	音楽: 1名
打楽器の技術	-	-	音楽: 1名	音楽: 1名
演技の技術 (カラーガードを含む)	-	-	視覚: 1名	-
動きの技術	-	-	-	視覚: 1名
カラーガードの技術	-	-	-	視覚: 1名

**集計方法**

**小学生の部**

各審査員の持ち点: 100点満点

合計点 = 全体的演奏・演技の調和:  $5 \times 100 = 500$ 点満点

得点: 合計点を5で割った値(小数点第1位まで用いる)を各団体の得点とする。

**中学生の部**

各審査員の持ち点: 100点満点

合計点 = 全体的演奏・演技の調和 + 全体的演奏技術と表現力 + 全体的演技技術と表現力

= 200点満点 + 200点満点 + 100点満点

= 500点満点

得点: 合計点を5で割った値(小数点第1位まで用いる)を各団体の得点とする。

## 高等学校の部

各審査員の持ち点: 200点満点

音楽と視覚の調和(600点満点)はそのまま集計に用い、これ以外の点数は以下に示す処理を行い集計に用いる。

$$\frac{\text{管楽器の技術} + \text{打楽器の技術}}{2} = \text{演奏技術点とする。}$$

$$\frac{\text{演奏の調和} + \text{演奏技術点}}{2} = \text{演奏点(200点満点)とする。}$$

$$\frac{\text{演技の調和} + \text{演技の技術}}{2} = \text{演技点(200点満点)とする。}$$

$$\begin{aligned} \text{合計点} &= \text{音楽と視覚の調和} + \text{演奏点} + \text{演技点} \\ &= 600点 + 200点 + 200点 \\ &= 1000点満点 \end{aligned}$$

得点: 合計点を10で割った値(小数点第1位まで用いる)を各団体の得点とする。

## 一般の部

各審査員の持ち点: 200点満点

音楽と視覚の調和(600点満点)はそのまま集計に用い、これ以外の点数は以下に示す処理を行い集計に用いる。

$$\frac{\text{管楽器の技術} + \text{打楽器の技術}}{2} = \text{演奏技術点とする。}$$

$$\frac{\text{動きの技術} + \text{カラーガードの技術}}{2} = \text{演技技術点とする。}$$

$$\frac{\text{演奏の調和} + \text{演奏技術点}}{2} = \text{演奏点(200点満点)とする。}$$

$$\frac{\text{演技の調和} + \text{演技技術点}}{2} = \text{演技点(200点満点)とする。}$$

$$\begin{aligned} \text{合計点} &= \text{音楽と視覚の調和} + \text{演奏点} + \text{演技点} \\ &= 600点 + 200点 + 200点 \\ &= 1000点満点 \end{aligned}$$

得点: 合計点を10で割った値(小数点第1位まで用いる)を各団体の得点とする。

## ( 1 ) 演奏演技計時内容の変更について

「第35回全国大会から演奏演技計時をより安全性を重視した方法に改革をさせて頂き、第38回大会まで実施して参りましたが、残念ながらこの方法で実施する事でタイムスケジュールよりも大幅な遅れが生じてしまいました。従いまして安全性を維持する事を基本に円滑な進行を行う為に演奏演技計時時間に入退場を含めさせて頂きます。」

## 演 技

### ( 1 ) 演技フロアー

演技フロアーは別記の通りとする。

演技フロアーへの入場は構成メンバーのみとする。

右側面演技ライン(白)は計時のみに使用する。

正面演技ラインより前方側の使用は原則として禁止する。

### ( 2 ) 入退場

演奏演技フロアーへの入場口は実行委員会の指定したゲートを使用すること。

構成メンバーはアラーム音の合図に従って入場し、右側面演技ラインを通過して退場すること。

#### 幼保の部・小学生の部・中学生の部

演奏演技時間は8分以内とする。演奏演技時間とは前の団体が退場完了後、アラーム音(ピッピッピッポー)のポー音で入場した時点から全ての構成メンバー及び器物が右側面演技ラインを通過し退場した時点までとする。

前の団体が退場完了後、アラーム音(ピッピッピッポー)のポー音で入場し演奏準備を行う。

入場開始から30秒間は演奏演技は出来ない。(この間を審査準備時間とする)

#### 高等学校の部・一般の部

演奏演技時間は9分30秒以内とする。演奏演技時間とは前の団体が退場完了後、アラーム音(ピッピッピッポー)のポー音で入場した時点から全ての構成メンバー及び器物が右側面演技ラインを通過し退場した時点までとする。

前の団体が退場完了後、アラーム音(ピッピッピッポー)のポー音で入場し演奏準備を行う。

入場開始から30秒間は演奏演技は出来ない。(この間を審査準備時間とする)

## ( 2 ) 編成別人数制限の変更

### 小学生の部

#### 変更なし

- ア．小編成（指揮者を含めて50名以内）
- イ．大編成（指揮者を含めて51名以上）

### 中学生の部

#### 変更なし

- ア．小編成（指揮者を含めて54名以内）
- イ．大編成（指揮者を含めて55名以上）

### 高等学校の部

- ア．小編成（指揮者を含めて54名以内）
- イ．中編成（指揮者を含めて55名以上90名以内）
- ウ．大編成（指揮者を含めて91名以上）

### 一般の部

- ア．小編成（指揮者を含めて54名以内）
- イ．大編成（指揮者を含めて55名以上）

#### 大会における著作権について

音楽著作権使用許諾申請において、市販の楽譜使用の際はスコアの表紙及び、購入を証明する（領収証等）をコピーして添付する事を義務付ける。（39回大会から実施する）